

# I. 事業報告書（2024年4月1日～2025年3月31日）

## 事業の状況

### 1. 助成事業

当財団は、情報科学の国際的研究交流を推進することを目的とした助成事業として、研究者海外派遣助成、外国人研究者交流助成及び特定分野研究交流助成を行う。

#### 1.1 研究者交流助成

##### (1) 研究者海外派遣助成

将来を担うべき有能な若手研究者を対象に、海外で開催される情報科学に関する国際研究集会派遣のための渡航費及び滞在費の一部を助成する。

##### ①募集・選考

助成募集要項及び申請書を財団 Web ページに掲載するとともに、大学等学術研究機関の情報系関連部署 203 か所に募集案内を郵送した。助成対象となる渡航期間は、2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日までとし、申請及び選考時すでに会議参加済みの場合も対象とした。助成金額については、原則として渡航先地域別の定額とした。2024 年 4 月 1 日～5 月 31 日まで公募したところ、72 件の申請があった。

2024 年 6 月 28 日にオンライン会議システム(Zoom)で選考委員会を行い、慎重に審議し、内定 3 件を含む 13 件を採択とした。

##### ②決定・交付

選考委員会の選考結果を受け、理事長が 2024 年度助成金交付対象に内定 3 件を含む 13 件を決定した。その後、他団体からの助成が先に決定したことによる辞退 1 件及び内定者のうち 2 名の提出論文不採録を受けて内定取消し 2 件があり、最終的に 10 件の助成を行った。助成金額について、定額設定外の地域は現状を鑑み、中東を 16 万円、アフリカを 26 万円とした。

助成金交付総額： 2,120,000 円（助成総数 10 件）

対象者及び詳細は下記表のとおり。

氏名・所属	参加国際会議	開催国	助成金額
CUI JIN 山梨大学大学院医工農学総合教育部 博士課程 2 年	LREC-COLING 2024 - The 2024 Joint International Conference on Computational Linguistics, Language Resources and Evaluation; NLP applications	イタリア	240,000 円
薛 君培 早稲田大学大学院基幹理工学部 博士課程 1 年	IEEE International Conference on Communication (ICC 2024)	アメリカ	240,000 円
永山 航太郎 京都大学大学院情報学研究科 修士課程 2 年	The 29th Annual International Conference on Natural Language & Information Systems (NLDB 2024)	イタリア	240,000 円

氏名・所属	参加国際会議	開催国	助成金額
北 直樹 信州大学工学部電子情報システム 工学科 准教授	Computer Graphics International 2024 (CGI2024); The Visual Computer track	スイス	240,000 円
堂本 晃希 関西学院大学大学院理工学研究科 博士前期課程 1 年	International Computer Music Conference 2024 (ICMC2024)	韓国	80,000 円
福田 京司 京都工芸繊維大学院工芸科学研究科 修士課程 1 年	The 35th International Conference on Database and Expert Systems Applications (DEXA 2024)	イタリア	240,000 円
HU JIHONG 立命館大学大学院情報理工学研究科 博士後期課程 2 年	27th International Conference on Medical Image Computing and Computer Assisted Intervention (MICCAI 2024)	モロッコ	260,000 円
進藤 嵩紘 早稲田大学大学院基幹理工学研究科 修士課程 2 年	2024 IEEE International Conference on Image Processing (ICIP 2024)	UAE	160,000 円
山登 一輝 宇都宮大学工学部基盤工学科 助教	2024 IEEE International Conference on Image Processing (ICIP 2024)	UAE	160,000 円
益子 和真 東北大学大学院情報科学研究科 博士前期課程 1 年	GLOBECOM - IEEE Global Communications Conference; Selected Areas in Communications-Satellite and Space Communications	南アフリカ	260,000 円

## (2) 外国人研究者交流助成

将来を担うべき有能な外国人研究者又はそれを受け入れる研究者を対象に、日本で開催される国際研究集会参加、又は日本の研究機関において共同研究を行うための渡航費及び滞在費の一部を助成する。

### ① 募集・選考

助成募集要項及び申請書は財団 Web ページに掲載するとともに、大学等学術研究機関の情報系関連部署 203 か所に募集案内を郵送した。助成対象となる来日期間は、2024 年 7 月 1 日～2025 年 3 月 31 日までとした。2024 年 4 月 1 日～5 月 31 日まで公募したところ、7 件(会議参加目的 6 件、調査研究目的 1 件)の申請があった。

2024 年 6 月 28 日の選考委員会で慎重に審議し、1 件を採択とした。

### ② 決定・交付

選考委員会の選考結果を受け、理事長が 2024 年度助成金交付対象に 1 件を決定し、助成した。

助成金交付額： 240,000 円（助成件数 1 件）対象者及び詳細は下記のとおり。

氏名・所属・職	共同研究機関・受入者	出発地	助成金額
Angeli Tillmann German Research Center for Artificial Intelligence, Researcher	大阪公立大学大学院情報学研究科 近藤大嗣	ドイツ	24 万円

## 1.2 特定分野研究交流助成

ソフトウェア分野における情報技術の将来を見通した研究課題の提言を行うことを目的に、産学の研究者が協同で行う調査研究交流に対する助成であるが、本事業については休止している。

## 2. 競技会開催事業

将来を担う情報科学の若手研究者の育成のために、情報技術に関する競技会の開催及び関連する事項について以下のとおり行った。

### (1) プログラミングコンテスト(ICPC2024 横浜大会)開催

競技会開催費： 15,236,508 円

ICPC(International Collegiate Programming Contest)とは、大学院、大学及び高等専門学校の同一校の学生3人が1チームを構成しコンピュータプログラミングの正確さと速さを競うもので、ICPC Foundationが年1回、世界的規模で開催している国際大学対抗プログラミングコンテストである。世界大会出場のための選抜大会として世界各地で地区大会が行われており、本件のICPC2024 横浜大会はアジア地区予選に該当しており、東京科学大学と共同で開催した。

#### ①経緯

2022年8月のICPC運営委員会で、2023年度及び2024年度開催協力校(ホスト校)を東京科学大学(当時東京工業大学)、実行委員長に西崎真也教授(同大学)が選任されており、2023年12月の同委員会でICPC2024横浜大会本選を横浜産貿ホールで2024年12月21、22日に開催することが決定されていた。審判長については、2024年4月のICPC運営委員会で審判長に山口勇太郎准教授(大阪大学)が選任され、理事長が決定した。

#### ②実施概要

日程： 2024年12月21日、22日

場所： 横浜産貿ホール及び横浜シンポジア(神奈川県横浜市中区山下町2番地)

主催： (公財)情報科学国際交流財団、ICPC横浜大会実行委員会、東京科学大学

実行委員長： 西崎真也教授(東京科学大学)

審判長： 山口勇太郎准教授(大阪大学)

主な基本ルール：

- ・同一の大学・短期大学・高等専門学校の学生3名とコーチ1名により1チームを編成する
- ・選手の参加資格についてはICPC運営委員会で定めた参加資格ルールに則る
- ・マシン(PC)はチームで1台のみ使用する
- ・印刷資料(辞書等)の持込は可、電子的なもの(電子辞書、携帯電話等)及び腕時計は不可
- ・設問に対し、正しく動くプログラムを作成した数(正解数)の多さを競う
- ・同数の場合は、提出までの所要時間の短さで判定し、誤答はペナルティとして時間を加える

使用言語： C、C++、Java、Kotlin、Python3

情報公開： Web ページ(<https://icpc.iisf.or.jp/2024-yokohama/>)に概要、ルール、結果、問題

等を適宜掲載、必要に応じて更新した。また、大会実行委員会 X (@icpcjapan) での情報更新も行った。募集に際し、全国の大学・高等専門学校 273 か所及び関係者に募集案内及び募集ポスターを送付したほか、開催時にはあらためて開催案内及び開催ポスターも送付した。

参加数： 国内インターネット予選 94 校 363 チーム

横浜大会本選 国内 35 校 50 チーム、海外 5 校 5 チーム 計 40 校 55 チーム

内容： 本選に先んじて、国内インターネット予選を行った。国内予選競技ルールに基づき、所属校において所属校教員の監督のもと実施し、94 校 363 チームから選抜ルールに則り 35 校 50 チームを選抜した。その後、海外の 5 校 5 チームの登録を受け、計 40 校 55 チームとした。

2024 年 12 月 21、22 日に横浜産貿ホールにおいて 40 校 55 チームが一堂に会し本選を行った。国際大会であるため、進行や出題などのコンテストに関わることは英語を使用し、5 時間にわたる競技を行った。コンテスト終了後、会場を横浜シンポジアに移し、審判団からの問題解説があり、その後結果発表・表彰式を取り行った。終了後、再び横浜産貿ホールに設営した会場で懇親会を行い、国内外の選手を始めとするすべての参加者が交流を深めるとともに、併設したスポンサーブースで見聞を広めることができた。

運営全般は、実行委員、審判団のほか、ICPC 参加経験者 (OB/OG 会) の協力を仰いで行った。

結果 (大学順位)： 1 位東京大学、2 位京都大学、3 位シンガポール国立大学

## (2) ICPC Asia Pacific Championship (アジア地区プレイオフ) への派遣

派遣先： シンガポール (シンガポール)

開催期間： 2025 年 2 月 27 日～3 月 2 日

内容： ICPC では世界を 8 地区に分けており、各地区で複数の大会が行われている。世界大会には各大会の優勝チームのほか、各地区での成績優秀チームが参加する。日本が所属するアジア (Asia Pacific) 地区では、その選抜を行うためのプレイオフに当たる Asia Pacific Championship が前年に引き続き開催された。

### ① 選手及びコーチの派遣

派遣旅費等補助： ICPC2024 横浜大会上位 8 校 (東京大学、京都大学、東京科学大学、東北大学、慶應義塾大学、大阪大学、徳山工業高等専門学校、筑波大学) の 8 チームを対象に各 13 万円の旅費及び参加登録費補助を行った。

参加登録費補助： 上記のほか、ICPC2024 横浜大会上位でプレイオフ参加資格を有する 4 チーム (京都大学 2、東京科学大学 2) を対象に各 3 万円の参加登録費補助を行った。

また、他サイトでプレイオフ参加資格を獲得した 2 チーム (早稲田大学、大阪大学) にも各 3 万円の参加登録費補助を行った。

派遣補助費総額： 1,220,000 円

結果： ICPC2024 横浜大会優勝でプレイオフ対象外の東京大学チームのほか、京都大学、東京科学大学、徳山工業高等専門学校の各チームが世界大会出場権を獲得した。

## ②指導者、審判及び技術スタッフの派遣

指導者は本競技会期間中に行われた開催運営に関わる会議において今後の運営方針等の協議・検討を行った。また、審判及び技術スタッフは本競技会運営に直接協力した。

派遣対象者： 笥捷彦(ICPC 運営委員長)、石畑清(ICPC 運営委員)、西崎真也(ICPC2024 横浜大会実行委員長)、楠本充(審判)、佐藤宏樹(技術スタッフ)、菅原悠(技術スタッフ)

派遣費総額： 600,183 円

## (3) 世界大会への派遣

第 48 回世界大会(ICPC2023-24)が行われ、出場権を得ていたチームを派遣した。

派遣先： アスタナ(カザフスタン)

開催期間： 2024 年 9 月 15 日～20 日

## ①選手及びコーチの派遣

派遣対象者： 4 チーム(東京大学、京都大学、東京科学大学、大阪大学)の選手及びコーチ

派遣補助費総額： 3,032,620 円

ICPC2023 横浜大会及び ICPC Asia Pacific Championship 2024 において出場権を獲得した東京大学、京都大学、東京科学大学、大阪大学チームを派遣した。

## ②指導者の派遣

派遣対象者： 笥捷彦(ICPC 運営委員長)、石畑清(ICPC 運営委員)、西崎真也(ICPC2024 横浜大会実行委員長)

派遣費総額： 210,490 円

大会期間中に行われる育成指導及び運営に関する会議に参加のため派遣した。

## (4) ICPC に関わる予備練習会の開催

過去に行われた ICPC 参加経験者(OB/OG 会)の協力のもと、予備練習会を行った。

本選参加チーム全体のレベル向上、競技プログラミング界全体の活性化を目標に、2024 年 9 月 14 日～16 日にわたり国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて横浜大会本選に向けた強化合宿を行った。

参加者： 選手 77 名(18 大学、1 高等専門学校)、スタッフ 12 名 計 89 名

開催補助費： 300,000 円

## (5) ICPC2025 横浜大会の開催

ICPC2025 横浜大会について、ICPC 運営委員会の決議を受け、理事長が以下のとおり決定した。

日程： 2025 年 12 月 6、7 日

場所： 横浜産貿ホール及び横浜シンポジア(神奈川県横浜市)

開催協力校： 東京科学大学

大会委員長： 西崎真也教授(東京科学大学)

以上